

令和2年6月15日

福島県フェンシング協会関係者様

福島県フェンシング協会

会長 佐藤 金正

日頃より、本県フェンシング競技普及発展のためご尽力賜り感謝申し上げます。さて新型コロナウイルス感染防止のための非常事態宣言が解除され、明るい兆しも見えてきておりますが、国・都道府県・市町村などからは様々な感染防止のためのガイドラインが示されており、依然としてスポーツ活動などの自粛が求められております。

こうした中で、選手や関係者の安全確保に留意しつつ、協会主催の福島県選手権大会・福島県総合体育大会について開催の可否を検討してまいりましたが、現状においては、まだソーシャルディスタンスの確保など、感染防止のガイドラインをクリアできない状況があります。感染防止のための自粛要請による普段の練習不足等により、選手たちのケガなども心配されます。特に、小中学生の大会は、安全で身体活動に制約のない状況で開催すべきと考えております。以上の理由で、今般7月の大会開催は感染予防が困難・時期尚早と判断して、中止とする事といたします。大会開催を期待していた選手もさぞ多かったろうと思われそうですが、期待に添えず誠に申し訳ありません。

福島県は感染者ゼロが続いています。全国的にもコロナ感染は、下火となり収束しつつあります。県内の学校の部活動やスポーツ少年団も動き出しました。部活再開のガイドライン・ソーシャルディスタンスの確保や感染予防の策を講じながら、来たるべき期日には、福島県でのフェンシング行事も開催できるものと考えられます。

県協会関係者の皆さん、小中高選手の皆さん、もうしばらくの辛抱です。今後も若きフェンサーの夢が叶えられるように、全力でバックアップいたします。来る日をめざして、ともにフェンシング競技に打ち込める体力と技術の準備をして参りましょう。